

# 日本大学医学部医学科 ルーブリック

日本大学教育憲章		医学部DP	初年領域:		中上級領域:		
			Basic		Intermediate and Advanced		
			1	2	3	4	
自主創造	自ら学ぶ	A-1: 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	DP1: 教養・知識に基づく高い倫理観	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、倫理的な課題を理解し説明することができる。	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の倫理観を倫理的な課題に適用することができる。	生命に対する尊厳を持ち、責任ある医療を実践するための豊かな教養と医学の知識を修得し、倫理的原則に基づいた医療に自ら参加することができる。	生命に対する尊厳を持ち、責任ある医療を実践するための豊かな教養と医学の知識を修得し、倫理的原則に基づいた医療を実践できる。
		A-2: 世界の現状を理解し、説明する力	DP2: 保健・医療・福祉の社会性を理解して、世界の現状を理解し、説明する力	地域社会及び国際社会の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状を概説できる。	地域社会及び国際社会の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を、自己の考えをもって説明できる。	自己の専門領域の文化的・社会的な位置付けを把握し、地域社会及び国際社会の保健・医療・福祉の現状を理解して、疾病予防と健康増進の向上に取り組むことができる。	自己の専門領域の文化的・社会的な位置付けを把握し、地域社会及び国際社会の保健・医療・福祉の現状を理解して、疾病予防と健康増進の向上に寄与することができる。
	自ら考える	A-3: 論理的・批判的思考力	DP3: 論理的・批判的思考力	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報を基に、論理的・批判的に考察することの重要性を説明できる。	新たな知識の創造をめざし、必要な情報を自ら収集することができる。	新たな知識の創造をめざし、得られる情報を基に実証的・論理的に思考することができる。	新たな知識の創造をめざし、得られる情報を基に実証的・論理的な思考、及び批判的な思考ができる。
		A-4: 問題発見・解決力	DP4: 問題発見・解決力	事象を注意深く観察して、解決すべき問題を認識できる。	問題の意味を理解し、助言を受けて複数の解決策を提示し説明できる。	患者に対して思いやりと敬意を示し、基礎・臨床・社会医学領域において、自らの立場を基に、事象を注意深く観察して、問題を見出し、解決策について思考することができる。	患者に対して思いやりと敬意を示し、基礎・臨床・社会医学領域において、自らの立場を基に、事象を注意深く観察して、問題を見出し、解決策を提案することができる。
	自ら道をひらく	A-5: 挑戦力	DP5: 挑戦力	新しいことに挑戦する気持ちを持つことができる。	新しい挑戦への計画を立て、準備することができる。	医療の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を基に、新しい医学知識や医療技術の創造に挑戦するための具体的な計画を立案し、準備することができる。	医療の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を基に、新しい医学知識や医療技術の創造に果敢に挑戦することができる。
		A-6: コミュニケーション力	DP6: コミュニケーション力	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて相互に意思を伝達することができる。	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて相互の意思伝達を自由かつ確実に、他者との良好な関係を確立することができる。	国内外の多様な文化、社会、環境の中で他者を理解し、その価値観を尊重し、医療の現場において適切なコミュニケーションを主体的に実践することができる。	国内外の多様な文化、社会、環境の中で他者を理解し、その価値観を尊重し、医療の現場において適切なコミュニケーションを主体的に実践し、自らの考えを伝え、発信することができる。
		A-7: リーダーシップ・協働力	DP7: リーダーシップ・協働力	集団の活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重することができる。	集団の活動において、より良い成果を上げるために、指導者のもとで他者と協働し、作業を行うことができる。	患者とその近親者、及び医療チームを尊重し、医療の質の向上と患者の安全管理を確保するために、責任ある医療を実践する上でのリーダーシップ・協働力を身に付けるための方策を思考することができる。	患者とその近親者、及び医療チームを尊重し、医療の質の向上と患者の安全管理を確保するために、責任ある医療を実践する上でのリーダーシップ・協働力を身に付ける。
		A-8: 省察力	DP8: 省察力	自己の学修経験の振り返りを継続的に行うことができる。	自己の学修に関する経験と考えを振り返り、分析できる。	生涯にわたり、患者の安全を基盤に医療の質を担保し、謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて基礎・臨床・社会医学領域において自己を高める方策について思考することができる。	生涯にわたり、患者の安全を基盤に医療の質を担保し、謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて基礎・臨床・社会医学領域において自己を高めることができる。